

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13～19℃台を示し、平年並みの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり25トンの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の3倍（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり206kgの水揚げで、前週の2.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり10.5トンの水揚げで、前週の2.9倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、五島奈留地区では1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を下回った）。
- 定置網——五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり4.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり31kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキなどが1日当たり96kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/18～3/24の7日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚休漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡周辺に出漁。

鳥取県西部（沖合船）2日延5隻、総計128箱、1航海最高46箱、平均25.6箱。

スルメイカを中心に漁獲、魚体は20～25入り主体。

今期は山口沖、隠岐海峡周辺が主漁場となった。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第2-8号 令和元年度 第2回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報」を長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」に掲載しています。

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>